

# 国際協力の現場を語る

JICA(ジャイカ:国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア(40歳~69歳)を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違った貴重な体験をしてくれています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日時:毎月第3水曜日 15時30分~17時  
 会場:JICA横浜 1階会議室または4階セミナールームなど  
 会費:無料 (どなたでも自由に参加できます)  
 主催:NPO法人「シニアボランティア経験を活かす会」  
 後援:JICA横浜  
 (やむを得ず日時・会場が変更される場合があります。事前にシニアボランティア経験を活かす会ホームページ、または下記問い合わせ先に確認して下さい。)



問合せ先:横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜3階 国際協力連絡室内  
 シニアボランティア経験を活かす会 水曜日  
 Fax:045-663-3263 担当:井坂敏之 (046-887-0286)  
 URL [https:// jicasvob.com](https://jicasvob.com) E-mail [info@jicasvob.com](mailto:info@jicasvob.com)

赴任国(講師名)	「タイトル」	講演概要
第171回 12月18日 (水) ドミニカ共和国 (川村成子)		「ドミニカ共和国日系社会での看護活動」 戦後の荒廃した日本から「カリブの天国」と言われたドミニカ共和国へ移住し、約60年の歳月を生きている高齢者の方々とそのご家族を対象としての2年間。日系人として日本の文化や祖国日本への思い・・・それらが次世代に受け継がれていくことも感じました。共に考え、寄り添える看護を目指した活動の中で学び、体験した事例の一端を報告します。
第172回 1月15日 (水) アメリカ、インド など (工藤 巖)	人海作戦の農場経営 	「世界各地での農場開発」 *アメリカの農業研修 *インドの農村青年オーストラリア研修企画 *マダガスカル畜産開発事業 *インドネシア :1)ランポン農業開発。 2)トラジャコーヒー開発 *コンゴ民主共和国(旧ザイール)日本鉱山付属農場開発など *その他
第173回 2月19日 (水) 中南米3カ国 (橋本敬次)	 メキシコ大地震(1985.9.19)	「世界で出会った災害体験」 国際協力の中で長期にわたり活躍された専門家やシニアボランティアの皆様には、赴任中に直接または間接的に生命にかかわる貴重な災害体験や経験をお持ちの方が多くおられるのではないのでしょうか。今回は、私が青年海外協力隊及び専門家として派遣された国々での災害体験(自然災害、人為的災害他)を報告したいと思います。
第174回 3月18日 (水) アルゼンチン (石寺 博)	 ジャカラランダの並木	「アルゼンチンでの改善活動」 広大なパンパ(中央部)で牧畜と大規模農業を発展させ、かつてはGDP世界第5位の日本より豊かな国であった。しかしながら第2次世界大戦後、世界市場で競争力のある産業創出に失敗し、数回のデフォルトを起し、今はIMFの支援に支えられている。この経済再建に必要な競争力ある企業育成施策の一つとして中小企業の生産性向上に取り組んだので、その活動とアルゼンチンの魅力を報告します。
第175回 4月15日 (水) ウズベキスタン (経澤伸一郎)		「ウズベキスタンの大学での経験を振り返って」 ウズベキスタン共和国の文化、社会、経済情勢などを紹介するとともに2年間の大学で教えた講義内容、学生たちの様子、教育制度の概要を紹介しながらウズベキスタンの将来について解説します。 その他、金融資本市場に関わる政府系機関でのアドバイザー役の経験をお話します。